

箕面公園昆虫館 <http://www.mino-konchu.jp>
〒562-0002 大阪府箕面市箕面公園1-18
TEL.072-721-7967

vol.19 TAKE FREE

箕面公園で昆虫たちと遊ぼう

箕面公園 昆虫館 だより

Minokoen Konchukan

Vol.19

蝶の多様性に
出会ってみよう！

オオゴマダラ
(タテハチョウ科)

Idea leuconoe

南西諸島から東南アジアにかけて分布するタテハチョウの仲間です。箕面公園昆虫館の放蝶園でも優雅にゆったりと飛ぶ姿を観察できます。

箕面公園昆虫館 2019年3月5日 中峰館長撮影

special 【特集】

個性際立つカーニバル
「世界の蝶展」

report

パラダイス放蝶園計画
「昆虫館で会える日本の蝶たち」



＼ 箕面公園昆虫館は箕面公園内にあります ／

自然豊かな箕面公園も一緒に楽しみませんか？

①みのお大滝

公園の入口である一の橋を渡り、楓のトンネルや杉木立の中を溪流に沿って滝道を2kmほど歩くと、「日本の滝百選」に選ばれた高さ33mのみのお大滝(箕面大滝)に至ります。



②野口英世像

世界の医聖といわれている野口英世博士は、大正4年(1915)米国留学から帰国した際、待ちわびていた母を伴って箕面に来遊されました。それにちなみ博士の生前の偉業をたたえ、昭和30年(1955)11月に銅像が建立されました。



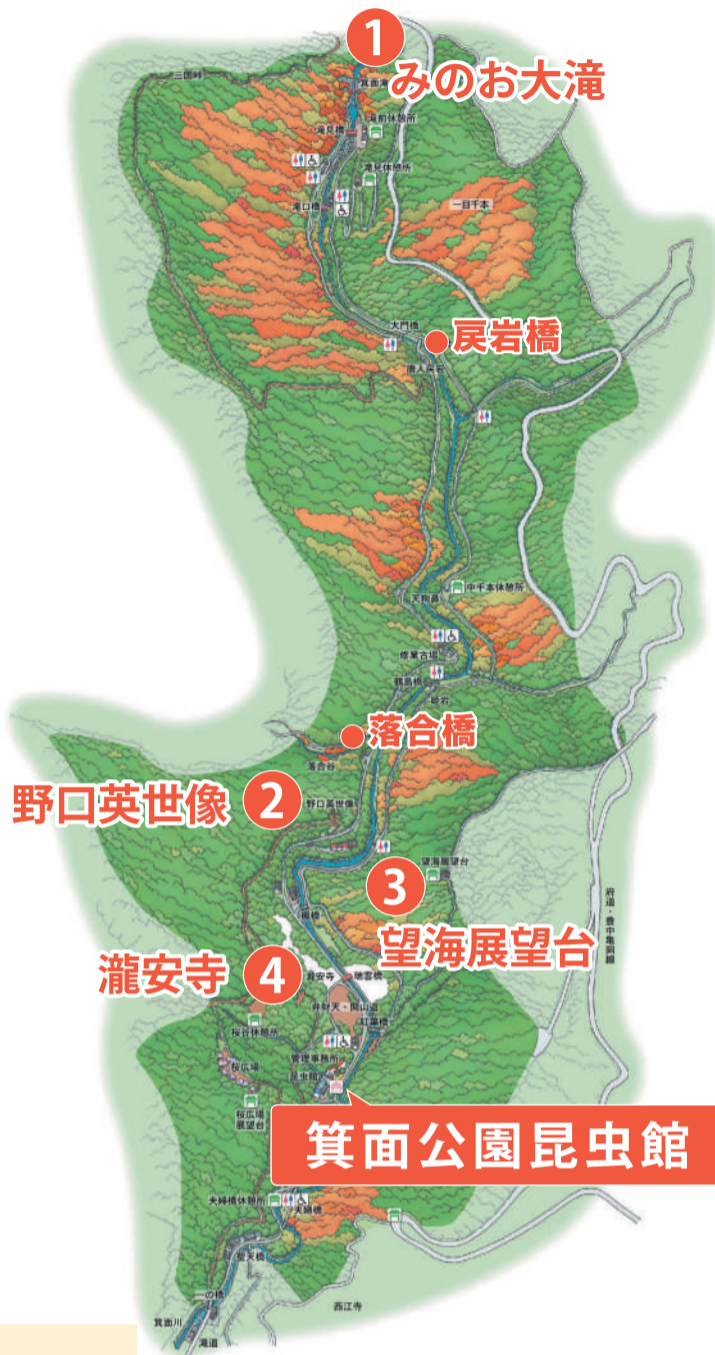
ご来園予定の皆さまへ

公園内落石防止工事のおしらせ

園内「落合橋」の北にて、落石防止工事(台風倒木および岩の撤去・ネットの張替え等)がおこなわれます。工事期間中は駅前から滝へのびる遊歩道(滝道)で一部区間完全通行止めとなります。

- 期間:2月中旬～3月末(予定)
- 通行止め区間:瀧安寺北～戻岩橋の区間

※駅前から(徒歩)商店街→昆虫館→瀧安寺までは通行できます(その先、滝道を歩いて滝までは行けません)
 ※期間中、滝道の対岸散策路を歩いて滝に行くことは可能ですが、舗装されておらず階段やアップダウンのある山道のため、ベビーカー・車イス等の通行はお控えください。
 ※詳しくは箕面公園のホームページ <https://www.mino-park.jp/> でご確認ください



③望海展望台

急峻な展望道を登りつめると、視界が一気に広がり爽快な気分になります。天気の良い日には、ここから大阪湾を一望のもとに見渡せますよ！



④瀧安寺

658年飛鳥時代、役行者が箕面寺を建立したのが始まりといわれ、山岳信仰修験道の根本道場として、大護摩法要(毎年4・7・11月)が行われます。本堂の弁財天は、江の島、琵琶湖竹生島、宮島とともに日本四弁財天の一つです。また、宝くじ(富くじ)発祥のお寺としても知られています。



箕面公園昆虫館

ご注意とお願い

- ゴミは各自で持ち帰ってください。
- 公園内は火気厳禁です。焚き火・バーベキューなどはできません。
- 公園内は一般車両(自転車含む)の乗り入れはできません。
- 草花や木を採らないでください。
- サルやイノシシなど野生動物にエサを与えないで下さい。

感染防止対策にご協力願います。

● 入館者の「人数制限」と「見学時間の制限」をおこないます

※再入館はできません。 ※予約はできません。
詳しくは、箕面公園昆虫館HPでご確認ください。 <http://www.mino-konchu.jp/>

- 中止:「ふれあい体験」など館内イベント
- 館内一部コーナーや設備の利用制限があります
- 入館時、見学時はマスクの着用をお願いします。 ● 検温にご協力をお願いします。

◎換気設備常時運転、排煙窓など開放する等の換気をおこないます。 ◎館内の定期的な消毒活動をおこないます。
◎スタッフはマスク着用、距離をとっての接客とさせていただきます。



屋外でも感染予防をしっかりと

マスクを着用する、お互いの距離をあげるなど感染予防対策をしっかりと行っただうで、箕面公園および箕面公園昆虫館をお楽しみください。



箕面公園昆虫館の利用案内

- URL** <http://www.mino-konchu.jp>
- 所在地** 〒562-0002 大阪府箕面市箕面公園1-18 TEL.072-721-7967
- 開館時間** 午前10時00分から午後5時00分(入館は午後4時30分まで)
- 休館日** 火曜日が休館(祝日のときは開館し、翌平日が休館)・年末年始(12/29～1/3)
- 入館料** 大人 280円、中学生以下無料、団体(有料入館者30名以上) 1名 200円
※障がい者手帖をお持ちの方、およびその介護者1名 無料
- 交通機関** 阪急宝塚線 石橋阪大前駅で箕面線に乗り換え箕面駅へ、千里中央駅から阪急バスで箕面駅へ

● 箕面市立駐車場をご利用ください。箕面公園昆虫館には駐車場がありません(公園内、一般車両乗り入れ不可)

発行：箕面公園指定管理者 メイプルハーツ企業共同体



昆虫館で会える日本の蝶たち

外国産の蝶もいますが、日本の蝶も負けてはいません。
 今回は、一年中蝶が飛び交う昆虫館のパラダイス、「放蝶園」と絡めて南西諸島に棲む蝶をご紹介します。

展示室で楽しむ

昆虫館には南西諸島に棲む蝶の標本もたくさん収蔵されています。亜熱帯から熱帯の気候帯に棲む蝶たちは、私たちが普段目している蝶とは少し違った雰囲気のものが多くみられます。昆虫館で、気分だけでも旅行気分を味わってください。



ウスキシロチョウ
 (シロチョウ科)
Catopsilia pomona
 奄美群島から南で見られるやや大型のシロチョウ。飛び方は活発で、木の梢など高所を飛ぶことも多い。

アオタテハモドキ
 (タテハチョウ科)
Junonia orithya
 沖縄島から南で見られる小型のタテハチョウ。荒地や土の見える日当たりのよい地面近くを飛ぶ。



放蝶園で楽しむ

この温室には一年中10種類以上、約500頭のチョウが飛んでいます。オオゴマダラやリュウキュウアサギマダラを始め、亜熱帯に棲むチョウがメインでひらひらゆったり飛ぶものや力強く羽ばたくものなど種類によって様々です。ここではそんなチョウたちの姿を観察し、ちょっとした発見をしてみてくださいね。



リュウキュウムラサキ
 (タテハチョウ科)
Hypolimnas bolina
 オスは林内の開けた場所や林縁でテリトリーを張る。迷蝶

ツマベニチョウ
 (シロチョウ科)
Hebomoia glaucippe
 シロチョウ科の中で最大級。前翅の先が鮮やかなオレンジ色をしているのが特徴。



絶滅危惧種を守る活動も



ツシマウラボシ
 シジミの採卵

幼虫の飼育を
 するスタッフ

**絶滅危惧種も
 パラダイス**
 蝶の飼育室では放蝶園に飛ばす蝶の飼育だけでなく、その技術を応用して絶滅危惧種を守るための飼育もおこなっています。

放蝶園を支えるお仕事



幼虫たちもパラダイス
 飼育室は母蝶の産んだ卵を回収し、孵化した幼虫を育てるお部屋です。ガラス張りになっていてスタッフが作業しているところをご覧頂けます。スタッフは飼育カップを掃除し、新たなエサの植物を入れるという作業を、蛹になるまで毎日繰り返し行います。作業中のスタッフと目が合ったら、いもむしを見せてくれるかもしれないですよ…

Column

毒を持つチョウに擬態するアゲハ

天敵から身を守るために、昆虫はさまざまな防衛手段をとっています。その一つが擬態です。擬態には①何かの真似をしてより目立つようにする擬態(標識擬態)と②まわりの環境に隠れて目立たなくするための擬態(隠蔽擬態)の二つに大きく分けられます。この①のタイプの擬態に、食べるとまずかったり体内に毒を持って

いる昆虫の姿に似せる擬態があります。これを専門用語で発見者にちなんで「ベーツ型擬態」といいます。今回の展示でもベーツ型擬態をしているチョウを展示していますが、その中でも特によくできているなあと感じてしまう2種を紹介します。

タテハチョウ科の ツمامラサキマダラに擬態する オオムラサキアゲハ

ツمامラサキマダラの幼虫はクワ科やキョウチクトウ科の一部の毒のある植物を食べて育ちます。この毒が成虫の体内にも残っていて、鳥などが食べるとまずくて吐き出すと考えられています。この「食べるとまずい」ツمامラサキマダラの真似をしているのがアゲハチョウ科のオオムラサキアゲハです。はねの色と模様、輝き方だけでなく体の模様のような細かいところまで似せています。



オオムラサキアゲハ



ツمامラサキマダラ

タテハチョウ科の アサギマダラに擬態する カバシタアゲハ

アサギマダラの幼虫もツمامラサキマダラと同じようにガガイモ科の毒のある植物を食べて育ち、「食べるとまずい」チョウになります。アサギマダラのマネをしているのがカバシタアゲハです。アサギマダラのはねの白い部分は鱗粉が少ないので少し透けて見えます。カバシタアゲハはこの白い部分の鱗粉を淡い色にすることで真似ています。カバシタアゲハも見れば見るほどうまく擬態しています。



カバシタアゲハ



アサギマダラ

個性際立つカーニバル

世界の蝶展

～2022年5/9月まで

あんなチョウやこんなチョウまで展示中!

箕面公園昆虫館に収蔵されている世界のチョウの標本をたくさん並べました。本当に華やかで綺麗です。是非見に来てください!

箕面公園昆虫館
中峰 空 館長

世界のチョウ、
552種を展示!

2017年4月に箕面公園昆虫館がリニューアルオープン。それから5年かけ、昆虫館に収蔵されている標本を再確認して、海外の種を中心に分類・整理しました。また、リニューアルオープン後に多数の標本の寄贈も受けました。

今回の企画展「世界の蝶」は昆虫館の一つの柱である収蔵標本整理の成果の賜物です。アゲハチョウ科とタテハチョウ科を中心に、世界のチョウ552種716点を厳選し展示しました。中でもトリバネアゲハ、モルフォチョウ、ミイロタイマイの三つはその美しさから「世界三大美蝶」とよばれています。是非この機会にその美しさと多様性をご覧ください。



生物地理区

地球上の生きものは上記の7つの区域でグループ分けされます。

新熱帯区の蝶 ～中南米の情熱的な雰囲気～

ナルキッサスミイロタテハ (タテハチョウ科)

Agrias narcissus

南米に分布するとても綺麗なチョウです。世界中で最も気高く格調高いチョウと言われることもあります。



レテノールモルフォ (タテハチョウ科)

Morpho rhetenor

南米に分布するモルフォチョウの中でもひととき美しく輝く翅を持つと言われていています。表のきらきらの意味は種間や雌雄の識別に使われるという説がありますが、実はよく分かっていません。派手な表側とは異なり、裏側はとても地味な色をしています。これは目立たなくする隠蔽の効果があると考えられています。

オセアニア区の蝶 ～太平洋の明るい雰囲気～

ゴライアストリバネアゲハ (アゲハチョウ科)

Ornithoptera goliath

ニューギニアに分布する最も美しいアゲハの一つです。近縁種のアレクサンドラトリバネアゲハと並んで世界最大のチョウとしても知られています。



ミイロタイマイ (アゲハチョウ科)

Graphium weiskei

ニューギニア島の高い山に分布するアゲハです。日本にも分布するアオスジアゲハに近いアゲハで、飛ぶのがとても速いと言われています。上品な色合いで人気の高いチョウです。

エチオピア区の蝶 ～アフリカの野生的な雰囲気～

ザルモクシスオオアゲハ (アゲハチョウ科)

Papilio zalmoxis

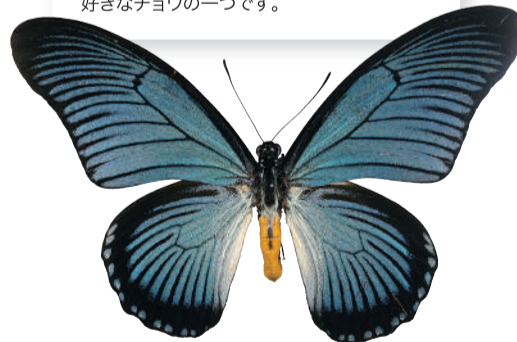
アフリカの熱帯雨林に分布する、アフリカを代表するアゲハです。このチョウもドルーリーオオアゲハと同様、体内に毒を持つと考えられています。淡い水色が美しい、館長が好きなチョウの一つです。



ドルーリーオオアゲハ (アゲハチョウ科)

Papilio antimachus

アフリカの熱帯雨林に分布する、アフリカ最大のチョウです。幼虫の食草はわかっていませんが、毒のある植物を食べているようで、成虫になっても体内に強い毒を持つと考えられています。



マダガスカル区の蝶 ～隔離された島の独特な雰囲気～

ハガタムラサキ (タテハチョウ科)

Hypolimnax dextihea

マダガスカル島特産の大型タテハチョウです。青みを帯びた深い黒と鮮やかな白のコントラストに乾いた大地のような土色の配色がとても美しいチョウです。



旧北区の蝶 ～ユーラシアの落ち着いた雰囲気～

オオアカボシウスバシロチョウ (アゲハチョウ科)

Parnassius nomion

ウスバシロチョウ(ウスバアゲハ)の仲間には主にユーラシア大陸の山に分布する清楚な美しさを持つチョウとして有名です。このオオアカボシウスバシロチョウは中国からロシアにかけて分布しています。翅の鮮やかな赤い斑紋が目立ちます。

